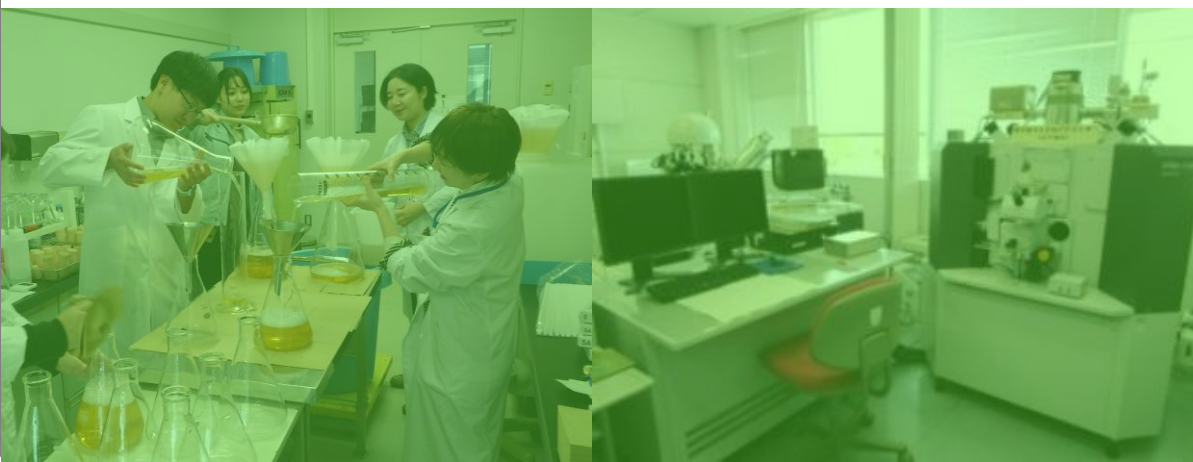
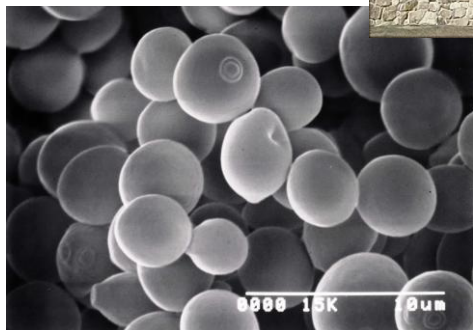
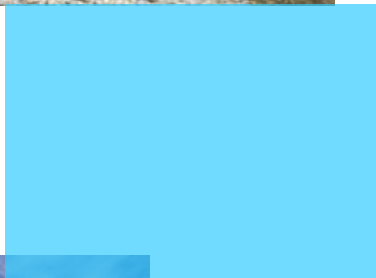




宮崎県職員 (化学職) の御紹介



化学職について

宮崎県は、九州山地や霧島連山などの緑豊かな山々や鬼の洗濯岩を擁する美しい海岸線に加え、温暖な気候、豊かな水資源、多様な動植物など素晴らしい自然環境に恵まれています。

本県の化学職は、このような素晴らしい自然環境を守り、将来の世代へと引き継いでいくため、大気汚染や水質汚濁の防止、廃棄物対策、地球温暖化対策などの環境保全に取り組んでいます。

また、県内産業を活性化させ、企業の持続的な発展を図るため、豊富な地域資源を活用した研究開発や技術支援などの産業・科学技術振興にも取り組んでいます。

現在、化学職は約60名が在職しており、お互いに連携・協力し合いながら、環境保全、産業・科学技術振興など幅広い分野で、**みやざきの未来を守り、創って**います。

本パンフレットでは、宮崎県における化学職の配置先、業務内容について御紹介します。

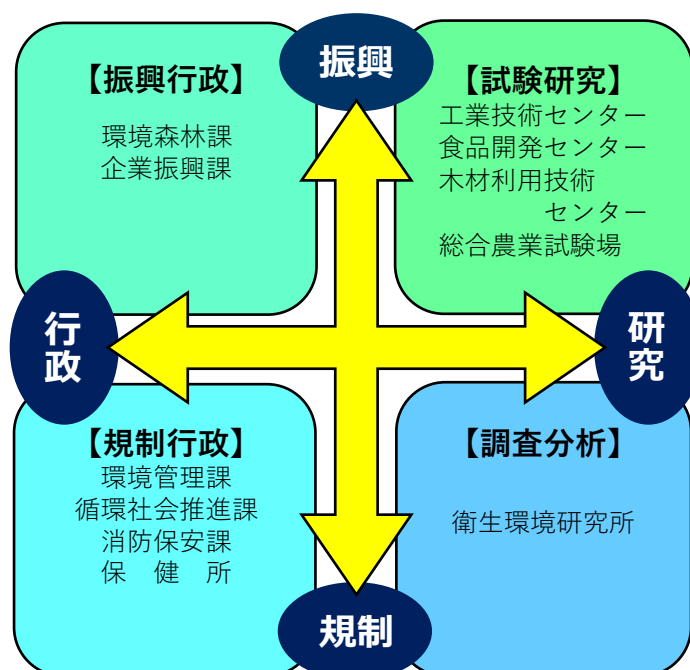
化学職の業務

化学職が担う職務は、業務分野では、

- ・ **守る（規制行政）**
環境保全・産業保安
- ・ **創る（振興行政）**
産業・科学技術振興

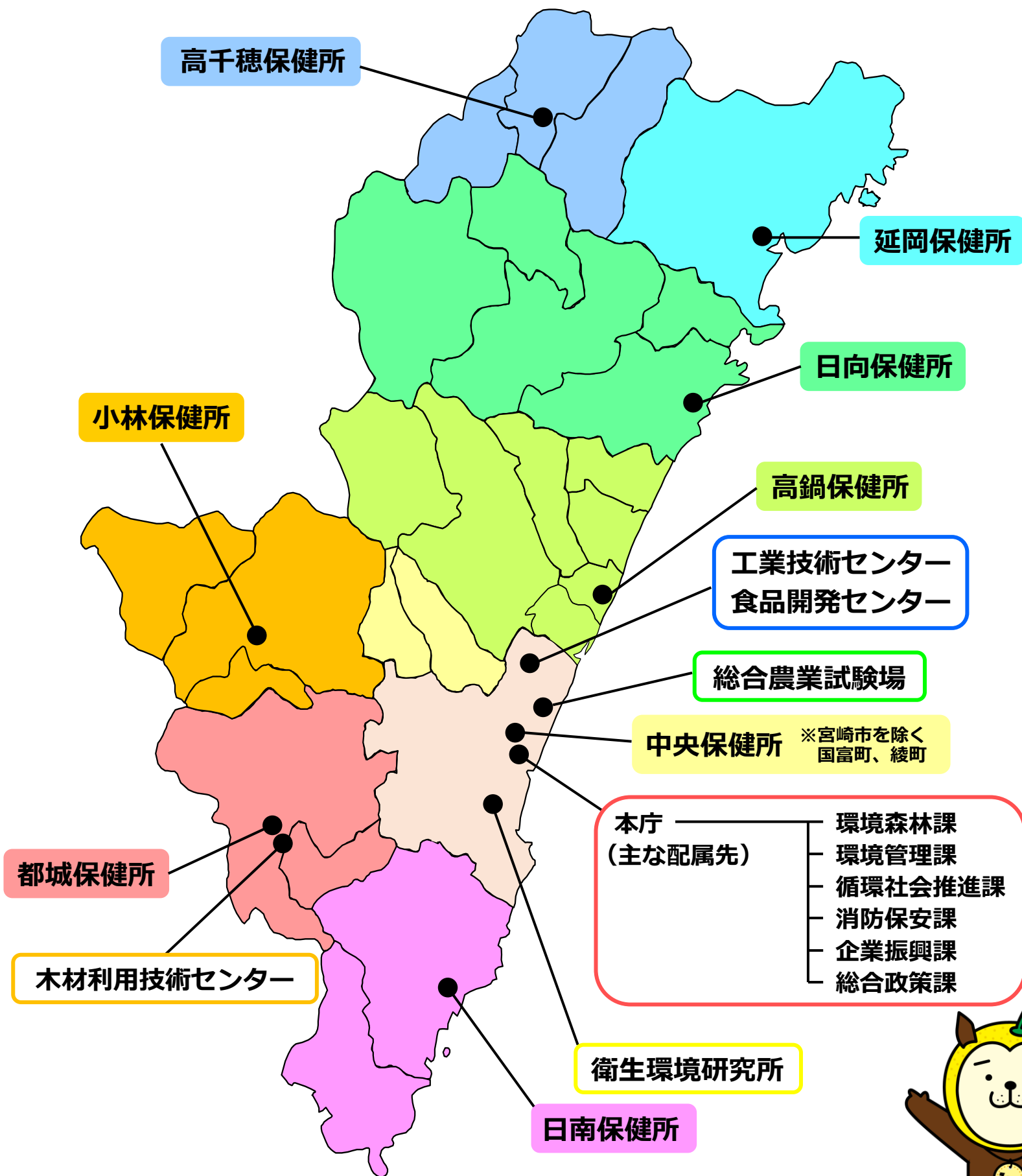
に分かれています。

また職域では**行政事務**と**試験研究**に大きく分かれています。



※その他、総合政策課への配置もあります。

化学職の配置先



➡ 創る (試験研究)

【出先機関】

工業技術センター

独自の技術で中小企業を支援！

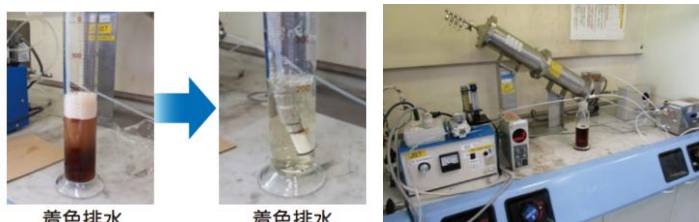


工業技術センターは工業分野の技術的支援による県内産業振興を使命とし、主に中小企業を対象とした各種の工業技術に関する技術支援業務及び研究開発業務を2本の柱として企業支援に取り組んでいます。

工業技術センターでは、主に資源環境部及び材料開発部に化学職が配置されています。

資源環境部

廃棄物のリサイクル技術、環境浄化技術、地域資源の利活用技術に関する研究開発・技術支援



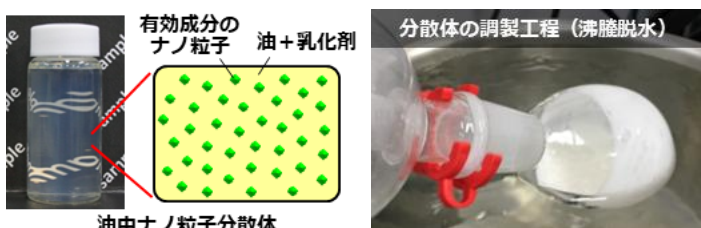
着色排水 (脱色試験前)

着色排水 (脱色試験後)

飲料排水の脱色技術支援

材料開発部

機能性材料に関する研究開発、分析・測定技術の高度化に関する研究開発、工業製品に混入した異物解明や工業材料の材質確認等の技術支援



油中ナノ粒子分散体

微粒子関連のオリジナル技術開発

【出先機関】

食品開発センター

地域資源を生かした食品加工・製造を支援！



食品開発センターは、食品製造事業者を技術的に支援することにより、県内フードビジネスの振興を図ることを使命とし、各種の食品開発に関する技術支援業務及び研究開発業務を実施しています。

食品開発センターでは、主に食品開発部及び応用微生物部に化学職が配置され、商品の開発支援、焼酎製造を支える酵母分譲、食品のおいしさの見える化など食品製造事業者の様々なニーズに対応した業務に取り組んでいます。

食品開発部

県産農産物の有効利用・機能性・おいしさに関する研究、品質保持・加工技術に関する技術支援、官能評価受託研究



おいしさの見える化支援事例 (宮崎ブランドポーク特徴マップ)

商品開発支援事例

応用微生物部

発酵食品・有用微生物・食品廃棄物リサイクルの研究、発酵食品の新商品開発・製造に関する技術支援、焼酎用酵母の分譲



微生物の培養操作

商品開発支援事例

【出先機関】

木材利用技術センター

森林資源の有効活用を
目指して！



木材利用技術センターでは、本県の豊かな森林資源を有効に活用するため、木材利用に関する基礎研究や応用研究等を通して、県内企業等への技術移転や新製品開発の支援などに取り組んでいます。

材料開発部において化学職は、再生可能な森林資源を有効利用するために木材に含まれる有用成分の抽出及び用途の開発、木材の耐久性向上に関する研究等を行っています。

現在、地球温暖化対策が強く求められている中、このような研究は二酸化炭素を吸収する森林資源の更なる活用につながるだけでなく、自然由来の成分としても実用化の期待が高まっています。

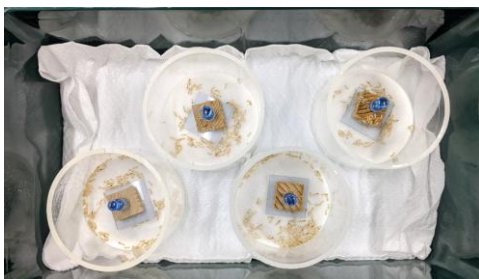
木材について学ぶことも多いですが、宮崎県の豊かな資源を生かした商品の開発に向けて研究に取り組んでいます。



GC-MSによる
有用成分の分析



スギから抽出した精油



防蟻性能試験



【出先機関】

総合農業試験場

豊富な農産物に安全安心
と高付加価値化を！



総合農業試験場は、「食料の増産」、「品質・生産性の向上」、「販売力の強化と農業経営の安定」といった時代の要請に応えながら、新技術の開発や新品種の育成等を行っています。

配置される生産流通部では、迅速分析法が未確立な農薬成分を対象とした残留農薬分析技術や農産物中に含まれる栄養・機能性成分の分析技術の開発等に取り組んでいます。

本県は、「宮崎方式」と呼ばれる全国でもトップレベルの残留農薬検査システムを確立しています。化学職は、こうした分析技術の高度化を通じて本県産農産物を県民の方々に喜んで食べていただけるよう、食の安全安心の一端を担っています。

お店に行った際に県産農産物を見て研究成果が活かされていると思うとうれしくなります。



農産物の残留農薬分析



機能性成分の一斉分析



機能性表示食品パッケージ



➤ 守る（規制行政）

【本庁】環境管理課

大気と水の環境を
守ります！



環境管理課では、県民の生活を取り巻く大気や水、土壌などの環境保全、化学物質による環境汚染の未然防止等のため、法律に基づく規制・指導等の業務を行っています。

快適な県民生活を支えるため、県内市町村や事業者と協力しながら、化学職としての知識を生かし、県内の良好な環境を守る取組を進めています。

大気・化学物質担当

大気の状態（PM2.5やオキシダントなど）を常時監視し、測定結果をリアルタイムで公開しています。化学物質については、ダイオキシン類等の環境汚染状況調査を行い、工場等への立入検査等により規制・指導を行うとともに化学物質の管理状況の把握を行っています。また、地球温暖化対策として、フロン排出抑制法に基づきフロン充填回収業者の登録、監視指導を行っています。

水保全対策担当

県内の水環境保全を目的として、県内全域の海・河川・地下水などの水質監視を行うとともに、工場からの排水等の規制・指導や生活排水対策の立案・実施を推進しています。また、市町村や関係機関と連携しながら、浄化槽の整備・適正管理のほか、県民に対して水辺環境の大切さを伝える事業にも取り組んでいます。



ふるさとの水辺発表会

【本庁】循環社会推進課

循環型社会を目指して！



循環社会推進課では、資源をできるだけ有効活用し、ごみを捨てることなく資源として再び利用することで、環境への影響を少なくする循環型社会の形成に向けた取組を推進しています。

化学職が配置される許可・審査担当は、工場や建設現場などから排出される産業廃棄物が適正に処理されるように、

- ・産業廃棄物を取り扱う業者から提出された書類の審査
- ・産業廃棄物を処分するための埋立場や焼却炉などの施設の実地調査

を行っています。

廃棄物処理施設は経済活動に無くてはならないものです。施設の完成までは数年かかることもありますが、書類の審査だけでなく、現場において設計どおり適切に完成しているかを確認する検査も行っており、施設の計画段階から完成まで県民の生活環境に影響がないようチェックする重要な仕事です。



産業廃棄物処分場の検査



木材破砕機（チップ）の検査



【本庁】消防保安課

県民の安全を
確保します！



さまざまな災害に対する防災や対応などを行う危機管理局にあって、消防保安課は産業用の火薬や高圧ガスの保安、県内消防本部の統括、防災情報システムの運用などを行っています。

消防保安課に配置された化学職は、産業保安担当において主に以下の業務を担当しています。

- ・高圧ガス施設の安全性に関する書類審査等、工場等での完成検査、定期保安検査などの保安対策
- ・火薬類の製造、販売、貯蔵、消費等に関する書類審査等、施設の完成検査や保安検査

高圧ガスや火薬は産業に不可欠である一方、取り扱いを間違えると大事故につながります。

このため、その管理や取扱施設は法律で厳しい基準が定められ、不適切な取り扱いによる事故を防ぐために、気体の性質や物質の性状など化学に関する知識を有している化学職が検査を行っており、まさに県民の安全安心に直結する業務でもあります。



高圧ガス取扱事業所



【出先機関】保健所

日常生活を安全
・快適に！



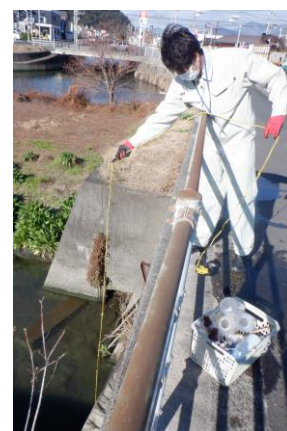
保健所は、県内8カ所に設置されており、地域住民の健康を支える中核となる機関として、疾病の予防、衛生の向上など、地域住民の健康の保持や増進、生活環境の保全に関する業務を行っています。

保健所において化学職は、主に「産業廃棄物に関する業務」や「環境の保全に関する業務」を担当しています。具体的には、

- ・廃棄物処理法などの法令に基づく許可申請の審査、事業場への立入検査・指導
- ・大気汚染防止法などの環境法令に基づく届出書類の受理、事業場への立入検査・指導
- ・管内の大気（PM2.5やオキシダントなど）の常時監視、河川・地下水・海水浴場の水質検査
- ・河川汚濁事故や不法投棄の通報への現場対応
- ・小学生を対象とした水辺環境学習等の啓発など

を行っており、本庁（環境管理課、循環社会推進課）、市町村等と連携しながら、管轄する地域における環境保全の中心的な役割を果たしています。

保健所での業務はフィールドワークも多いですが、他の職員の方々と協力しながら県民が安全で快適に暮らせるように日々の業務に取り組んでいます。



採水作業

➡ 守る (調査分析)

➡ 創る (振興行政)

【出先機関】 衛生環境研究所

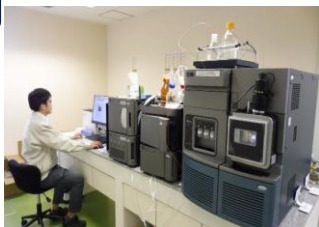
衛生環境分野の科学的・技術的中核機関！



衛生環境研究所は、衛生環境行政に関する科学的・技術的中核機関として、感染症や食品衛生に関する検査、環境放射能調査及び環境汚染の防止に関する分析など、公衆衛生の幅広い分野の行政検査を担っています。

化学職は「衛生化学部」と「環境科学部」に配置され、衛生化学部は、食品中の残留農薬・動物用医薬品・食品添加物の理化学試験等や環境放射能調査等を、環境科学部は、大気汚染常時監視、河川水・地下水・工場排水などの環境分析等を実施しているほか、関連する研修指導や調査研究にも取り組んでいます。

衛生化学部



(左) 食品中の残留農薬等検査

(下) 環境放射能調査



環境科学部



(左上) 大気降下物調査

(上) 河川水・地下水のVOC測定

(右) 工場排水検査



【本庁】 環境森林課

ゼロカーボン社会を目指して！



環境森林課は、環境管理課や循環社会推進課も属する環境森林部全体の連絡調整を担っており、環境基本計画や森林・林業長期計画の策定やそれら計画に基づく企画立案、取組の推進を行っています。

化学職が配置されている「環境政策・脱炭素推進担当」では、世界全体の課題として認識されている地球温暖化抑制のため、本県の温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにするという目標を掲げ、主に下記のような取組を実施しています。

- ・ 県民、事業者に向けた普及啓発（セミナー、ホームページ、テレビ出演等）
- ・ 各種補助金の創設、執行
- ・ 環境基本計画の策定・進行管理
- ・ 県内企業による脱炭素の取組の伴走支援
- ・ 県庁の取組推進（庁舎への再エネ導入等）

目に見えないCO₂を削減するためにあらゆる策を講じておりますが、その結果は、我々の子や孫の代にはじめて分かります。雲を掴むような話ですが、世界の共通認識として今やらなければいけないことであり、責任感と充実感をもって業務に臨んでいます。



ひなたゼロカーボン2050
特設サイトホームページ
是非アクセスしてみてください



県庁7号館屋上のソーラーパネル



普及啓発セミナー

【本庁】企業振興課

フードビジネスを 成長産業に！



企業振興課は、中小企業の成長促進対策や食品・工業・情報通信産業の振興及び技術支援、砂利採取・採石、産業財産権及び発明奨励などに取り組んでいます。

これらの中で、化学職は食品産業（フードビジネス）の振興、特に食品製造事業者への支援を担っており、フードビジネスに携わる庁内の関係課や、技術的な支援を行う食品開発センターとの連絡調整などを行っています。

具体的な業務としては、以下のような事業の企画や事務手続（事業者募集、補助金交付等）を担当しています。

- ・フードビジネスを担う産業人材の育成
- ・取引拡大につながる認証取得や、製造現場の衛生管理向上に向けた補助 など

フードビジネスは、本県の豊富な農林水産物を活かして県外から外貨を稼ぐ重要な産業です。

庁内関係課や食品開発センターとの連携を通じた事業者支援の取組は、大変やりがいのある業務です。



フードビジネス人材育成講座の様子



【本庁】総合政策課

県庁の指令塔！



総合政策課では、宮崎県総合計画の策定・推進やエネルギー対策に関する業務など、県の様々な部局と連携し、県政発展のための施策立案・推進に取り組んでいます。

宮崎県総合計画

県総合計画は、「長期ビジョン」と「アクションプラン」で構成されます。

「長期ビジョン」…長期的な視点で将来像を描き、その実現に向けて解決すべき課題や今後の方向性など、本県がこれから進むべき道筋を示しています。

【令和4年9月策定】

「アクションプラン」…長期ビジョンに示す目指す将来像の実現に向けて、令和5年度からの4年間に重点的・優先的に取り組む5つの重点プログラムを設定しています。

【令和5年6月策定】

この計画（「長期ビジョン」及び「アクションプラン」）の策定や推進に取り組んでいます。





【お問合せ先】

宮崎県 環境森林部 環境管理課

電 話 0985-26-7085

E-mail kankyokanri@pref.miyazaki.lg.jp

化学職のインターンシップも待ってます！